

令和3年度社会福祉推進事業

科学的介護情報システム（L I F E）を活用した
介護過程実践に関する調査研究事業

報告書

株式会社コモン計画研究所

令和4（2022）年3月

科学的介護情報システム（L I F E）を活用した介護過程実践に関する調査研究事業 報告書

目次

第1章 調査研究の全体像.....	1
1 調査研究の目的と視点.....	3
(1) 前年度調査研究の振り返りと残された課題.....	3
(2) 本調査研究の目的と視点.....	4
(3) 調査研究における用語について.....	5
2 調査研究の枠組みと内容.....	5
(1) 調査研究の内容.....	5
① L I F Eを活用した介護過程実践事例調査の実施.....	5
② L I F Eを活用した介護過程実践事例集の作成.....	7
(2) 検討体制：検討委員会の設置.....	8
(3) 検討体制：作業部会の設置.....	9
3 調査研究の経過.....	10
第2章 調査研究の総括.....	13
1 調査研究概要.....	15
(1) 事例調査における調査対象.....	15
(2) 事例調査における目的.....	15
(3) 介護過程の基本と本調査研究の関係.....	16
2 事例報告のまとめ.....	16
(1) 取り組み前の介護過程の課題.....	17
① アセスメントに関する課題.....	17
② 計画・目標に紐づく実施記録、情報共有に関する課題.....	18
③ 既存の業務の変更に対する様々な障壁.....	18
(2) 取り組み前の介護職チーム・介護リーダーの課題.....	19
① 介護リーダーとしての自覚・自信の不足.....	19
② 介護リーダーによる介護職員への指導力・かかわりの不足.....	20
③ 介護過程を推進していくための介護リーダーの力量不足.....	20
(3) L I F E導入をきっかけとした介護過程の取り組み・工夫.....	20
■取組・工夫1：アセスメント等書式の新規作成・変更.....	21
■取組・工夫2：研修・勉強会等の開催.....	22

■取組・工夫 3：会議体の創設・変更	22
■取組・工夫 4：介護リーダーの役割を周知・明示	23
■取組・工夫 5：介護リーダーや介護職に具体的役割を付与	23
■取組・工夫 6：実施や評価の精度を上げる取り組み	23
■取組・工夫 7：1～6 を後押しする業務改善	24
(4) 新たな取り組み・工夫による介護過程実践への効果や影響	26
■取組・工夫 1：アセスメント等書式の新規作成・変更による効果や影響	27
■取組・工夫 2：研修・勉強会等の開催による効果や影響	28
■取組・工夫 3：会議体の創設・変更による効果や影響	29
■取組・工夫 4：介護リーダーの役割を周知・明示したことによる効果や影響	30
■取組・工夫 5：介護リーダーや介護職に具体的役割を付与したことによる効果や影響	30
■取組・工夫 6：実施や評価の精度を上げる取り組みによる効果や影響	30
(5) 利用者の受益・変化	31
① A D L、身体機能に関する変化	32
② 認知症に関する変化	32
③ 利用者の QOL に関する変化	33
(6) 新たな課題・今後の展望	34
① 業務時間の増加、一部職員への負担	34
② 事例調査実践チーム以外への横展開	35
③ L I F E と連動した現場実践の更なる推進	35
3 考察	36
(1) 介護過程実践における課題	36
(2) L I F E 導入をきっかけとした介護過程実践における取り組みとその効果や影響	38
(3) 介護過程を効果的に進める要素との関連	40
(4) L I F E を活用し介護過程実践を展開する上で介護福祉士に求められる役割	41
(4-1) 介護リーダーとしての介護福祉士に求められる役割	42
① 介護過程実践における中核的役割を担う	42
② 生活を支援軸に利用者を支える	42
③ 介護実践を言語化する	43
④ 利用者の声の代弁・意思決定・自己実現を支援する	43
⑤ 多職種連携を推進する	44
⑥ 介護過程実践の基盤となる組織運営を推進する	45
(4-2) 介護リーダー以外の介護福祉士たちに求められる役割	45
(4-3) L I F E を活用し介護過程実践を展開する上で介護福祉士に求められる役割	46
4 本調査研究の限界と課題	48

第3章 科学的介護情報システム（L I F E）を活用した介護過程実践事例調査結果 ...	49
1 実践事例調査の枠組み.....	51
(1) 目的	51
(2) 調査対象	51
(3) 調査方法	54
2 事例調査結果	58
事例1 特別養護老人ホーム サンシャイン大森	59
事例2 特別養護老人ホーム あけぼの.....	61
事例3 特別養護老人ホーム 潤生園	64
事例4 特別養護老人ホーム なのはな苑ふくおか	66
事例5 介護老人保健施設 もえぎ野	68
事例6 介護老人保健施設 あいの郷	70
事例7 介護老人保健施設 紀伊の里	72
事例8 ツクイ 一宮開明.....	76
事例9 デイサービスセンター ふぁみりい	78
事例10 フロイデグループホーム ひたちなか	80
事例11 愛の家グループホーム 国分寺本多	82
事例12 小規模多機能ホーム 大宮	84
事例13 看多機 かえりえ河原塚	86
資料	89
調査研究ご協力者	91

第1章

調査研究の全体像

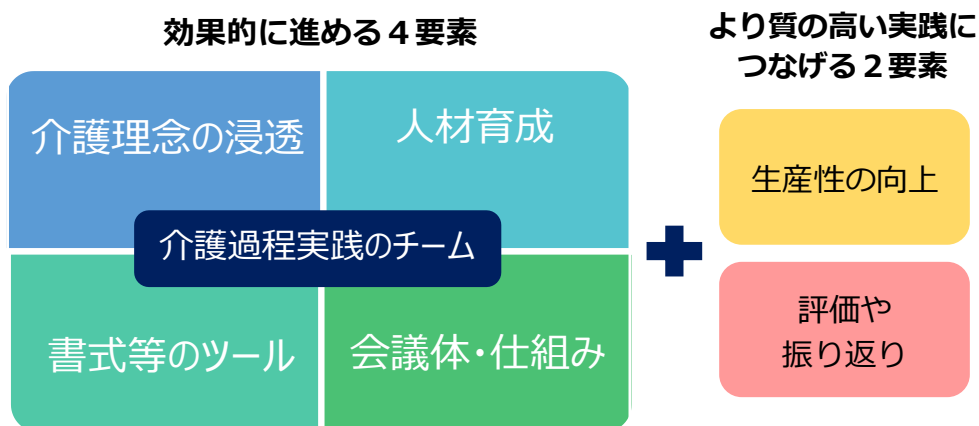
1 調査研究の目的と視点

介護過程は、利用者の自立の維持・向上、利用者の望む生活の実現をするために必要な「根拠に基づいた介護実践」である。介護過程は介護福祉士養成カリキュラムなどの介護人材の育成において重要な科目であり、介護福祉士の専門性の1つとして介護現場で取り組むことが期待されている。また、介護福祉士の役割においては、介護職チームをまとめていく介護リーダーや多職種連携の要となることと並び、介護過程を実践できることが求められている。認知症ケアや看取り、地域生活支援などが求められる中、根拠ある介護実践とともに、介護職チームにおける統一的・継続的な介護の質を担保する上でも介護過程の実践は重要である。

(1) 前年度調査研究の振り返りと残された課題

令和2年度社会福祉推進事業「介護現場における介護過程実践の実態調査及び効果検証に関する調査研究事業」(令和3年3月、株式会社コモン計画研究所)において、介護過程実践は利用者の自立の維持・向上、利用者の望む生活の実現といった“対利用者への意義”、介護職員の専門職としての意識の向上、他職種との連携、ケアプランの充実など“専門職としての実践の意義”、その他介護職チームケアの推進など、多様な効果が一定程度あると認識されている実態がアンケート調査により明らかになった。

また、事例調査からは、介護過程実践を介護現場において、より効果的に進めるための4つの要素と、より質の高い実践につなげるための2つの支援要素が明らかになり(下図)、介護過程は介護職個人による専門的な技能であるという認識を踏まえつつも、現場における介護職チームを実働させるチームケアの重要な技法であり、仕組みでもあるという構図が見え、組織として取り組みが介護過程の深化・推進につながることが明らかになった。



加えて、介護過程実践におけるリーダー的役割人材である介護福祉士の6つの役割も抽出されたが（下図）、介護過程実践チームの中における介護福祉士特有の役割が十分に見出しきれず、また介護過程実践で介護福祉士が実際に機能しているのか効果検証が不十分であるという課題が残された。そして、介護過程実践による最終受益者である利用者にとっての受益と実践効果についても検証をすることはできなかった。

介護過程実践における介護職（介護福祉士）の役割

①介護過程実践における中核的役割を担う

②生活を支援軸に利用者を支える

③介護実践を言語化する

④利用者の声の代弁・意思決定・自己実現を支援する

⑤多職種連携を推進する

⑥介護過程実践の基盤となる組織運営を推進する

（２）本調査研究の目的と視点

令和3年度より始まった「科学的介護情報システム（L I F E）」（以下、「L I F E」という）は、アセスメント情報等のデータ登録及びフィードバックの活用を通じて、介護事業者におけるケアの質の向上を図る新たな取り組みである。L I F Eの活用や推進において介護過程実践は必須であり、その担い手である介護福祉士の役割は大きいと考える。

本年度事業においては、介護過程実践事例調査（以下、「事例調査」という）を通じて以下の3つを明らかにすることを目的とする。②③は、前年度事業で残された課題を踏まえた取り組みである。

- ① L I F E 導入をきっかけに、組織や介護職チームが介護過程実践に関連して取り組んだこと、その効果や影響は何か
- ② ①の取り組みを踏まえた介護過程実践の中で、介護リーダーにはどのような効果や影響があったのか、またその介護リーダーを通じて介護職チームにはどのような効果や影響があったのか
- ③ L I F E を活用した介護過程実践を受けた利用者にはどのような受益や変化があったか

なお、本調査研究はL I F E 活用の推進に軸足を置くものではなく、L I F E 活用を通して介護過程実践の深化・推進を図ることを目的としている。

(3) 調査研究における用語について

本調査研究では、下記用語に統一して表記している。

- ・ケアプラン
- ・ケアマネジャー
- ・個別介護計画（介護職が介護過程において作成する計画）
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・言語聴覚士
- ・利用者

また、本調査研究で表記している「介護リーダー」は、介護職による「介護職チーム」等をまとめるリーダーであり、介護福祉士資格所持者であることを前提としている。

2 調査研究の枠組みと内容

(1) 調査研究の内容

① L I F E を活用した介護過程実践事例調査の実施

L I F E を導入または導入を予定している介護事業者において、L I F E の活用による介護過程を実践し、前述の①～③（4 ページ）を明らかにすることを目的に「L I F E を活用した介護過程実践事例調査」を実施した。

本調査は、③の目的に付随して、事業所や組織ではなく個別ケア（利用者）を対象とした事例調査としている。

また、L I F E という新たな仕組みを意図的に取り込んで個別ケアを実践するという「アクションリサーチ」の性質を有する取り組みでもある。

【事例調査に協力いただく事業者の要件】

調査協力をいただく事業者の前提要件として、①L I F E を導入または導入予定であること、②法人から選出された代表者が作業部会委員として情報交換や事例をとりまとめ、発表・報告等を行うことを要件とした。

【事例調査に協力いただく事業者の抽出】

事例調査に協力いただく事業者を抽出するにあたり、前年度事業に課題として残された事案を検証することを鑑み、前年度事業の実践事例調査対象施設の一部に調査協力を依頼した。

しかし、本調査研究のテーマであるLIFEの活用効果を把握するためには、特定のサービス種別にとどまるべきではないという視点から、事業者団体や職能団体等に推薦を依頼し、事例調査協力事業者の協力を呼び掛け有意抽出した。結果として、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設に加え、前年度事業では調査対象としていなかった居宅サービス事業者及び地域密着型サービス事業者についても調査協力を得ることができた。

なお、事例調査実施中に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により途中辞退の事業者があり、最終実施数は13事業者、16事例となった。

調査の枠組み

1 対象：	介護老人福祉施設	：4事業者、5事例
	介護老人保健施設	：3事業者、5事例
	通所介護	：2事業者、2事例
	認知症対応型共同生活介護	：2事業者、2事例
	小規模多機能型居宅介護	：1事業者、1事例
	看護小規模多機能型居宅介護	：1事業者、1事例
	合 計	
2 要件：	① LIFEを導入または導入予定であること	
	② 法人から選出された代表者が作業部会委員として 情報交換や事例とりまとめ、発表・報告等を行うこと	
3 事例対象：	個別ケア（利用者）	
4 実施期間：	令和3年11月～令和4年2月のうち3か月程度	

【個人情報への配慮及び個人情報保護の徹底】

本事例調査は、弊社におけるプライバシーポリシーに基づき実施し、取り扱う事例については下記の通り具体的配慮を行うとともに、確実な実行を担保するため社内の第三者（担当外）によるチェック体制を整備した。

- ・ 具体的配慮1：事例に関する情報として実施計画、中間報告、実施報告及び成果物において対象者の氏名、年齢、性別を明示しないことを徹底した。
- ・ 具体的配慮2：写真等については個人が特定できないモザイクや塗りつぶし加工をした画像のやり取りを徹底し、掲載にあたっても同様の対応をした。
- ・ 具体的配慮3：上記1及び2の対応がされない状況が確認された場合は、速やかにその状況を事例提供事業者及び事務局で共有し、双方における当該データの消去等を実施した。

② L I F E を活用した介護過程実践事例集の作成

L I F E を活用した介護過程実践事例調査結果について、介護事業所における介護過程の推進、介護職員現任者研修、介護福祉士養成校等において教材の一部として活用を図ることを目的に、「科学的介護情報システム（L I F E）を活用した介護過程実践事例集」（以下、「事例集」という）を作成した。

事例集は、印刷製本をして関係機関への配布のほか、広く多様な関係者・機関の活用を推進するため、弊社ホームページにて公開する。

▼公開先

<https://www.comon.jp/dl/project.html>



科学的介護情報システム（L I F E）を活用した 介護過程実践事例集の主な内容

- 事例集活用のねらい、ながれ、事例のみかた
- 介護過程及びL I F E の解説
- 事例から得られる示唆
- L I F E を活用した介護過程の実践事例

(2) 検討体制：検討委員会の設置

以下の学識経験者、職能団体、事業者団体からの推薦者で構成される検討委員会を設置し、調査に関する方法及び内容の検討・精査・修正等に関する助言、調査結果を踏まえた今後の提言について検討を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、すべてリモート開催とした。

役職	所属等	氏名（敬称略）
委員	公益社団法人日本介護福祉士会 会長	及川ゆりこ
委員	公益社団法人全国老人福祉施設協議会 老施協総研運営委員会委員	神部 健史
委員	全国福祉高等学校長会 事務局次長	真田 龍一
委員	公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 理事 聖隷クリストファー大学 教授	野田由佳里
委員	一般社団法人日本在宅介護協会 介護保険制度委員会委員	早見浩太郎
委員	東洋大学ライフデザイン学部 教授	古川 和稔
委員長	社会福祉法人本庄ひまわり福祉会 理事・総合施設長	本名 靖
委員	公益社団法人全国老人保健施設協会 管理運営委員会副委員長	山野 雅弘

【オブザーバー】

所属等	氏名（敬称略）
日本福祉大学 教授	武田 啓子
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護人材確保・広報戦略対策官 ※令和3年9月末日まで	鈴木 俊文
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護人材確保・広報戦略対策官 ※令和3年10月1日より	藤野 裕子
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護福祉専門官	鈴木真智子

(3) 検討体制：作業部会の設置

以下の有識者、関係者で構成される作業部会を設置し、本調査研究における事例調査の実施、調査結果の分析、結果を踏まえたまとめ・今後の提言案等の作成を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、すべてリモート開催とした。

役職	所属等	氏名（敬称略）
委員	社会福祉法人小田原福祉会 特別養護老人ホーム潤生園 施設長	井口 健一郎
委員	社会福祉法人長岡福祉協会 介護老人保健施設新橋ばらの園 介護課 係長	生出 大介
委員	株式会社ツクイ 東海圏 本部長	金澤 彰洋
委員	株式会社トッツ デイサービスセンターふぁみりい 所長	橋高 裕行
委員	医療法人徳洲会 介護老人保健施設あいの郷 相談部門主任	白石 学
委員	メディカル・ケア・サービス株式会社 事業支援部 部長	神保 勉
委員	社会福祉法人山形 特別養護老人ホームサンシャイン大森 部長	菅原 浩
委員	株式会社やさしい手 執行役員	中村 徹也
委員	社会福祉法人彩光会 特別養護老人ホームあけぼの 介護係長	成田 裕暁
委員	社会福祉法人明翠会 特別養護老人ホームなのはな苑ふくおか 介護統括主任	松橋 卓磨
委員	社会福祉法人河内厚生会 介護老人保健施設もえぎ野 介護長	宮本 栄子
部会長	公益社団法人日本介護福祉士会 理事	望月 太敦
委員	医療法人博仁会 志村フロイデグループ 介護部 部長	森 久紀
委員	医療法人明成会 介護老人保健施設紀伊の里 施設長	山野 雅弘

【オブザーバー】

所属等	氏名（敬称略）
日本福祉大学 教授	武田 啓子
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護人材確保・広報戦略対策官 ※令和3年9月末日まで	鈴木 俊文
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護人材確保・広報戦略対策官 ※令和3年10月1日より	藤野 裕子
厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課福祉人材確保対策室 介護福祉専門官	鈴木真智子

3 調査研究の経過

開催			主な議事内容
第1回	検討委員会	日時：令和3年9月3日（金） 17時～19時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉推進事業の報告 ・本年度事業の目的と調査研究概要 ※LIFEの概要について共有 ・取組1事例調査について ・事例調査候補について ・取組2事例集作成について ・スケジュールについて
第1回	作業部会	日時：令和3年9月27日（月） 10時～12時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度社会福祉推進事業の報告 ・本年度事業の目的と調査研究概要 ・取組1事例調査について ・取組2事例集作成について ・スケジュールについて ・事例調査対象施設・事業所紹介 ・科学的介護情報システム（LIFE）とは ・事前ヒアリング（プレゼンテーション）の準備について
第2回	作業部会	日時：令和3年10月12日（火） 17時～20時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査事前ヒアリング（プレゼンテーション）発表及び質疑応答 4事業者
第3回	作業部会	日時：令和3年10月18日（月） 17時～20時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査事前ヒアリング（プレゼンテーション）発表及び質疑応答 3事業者
第4回	作業部会	日時：令和3年10月21日（木） 13時～16時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査事前ヒアリング（プレゼンテーション）発表及び質疑応答 5事業者
第5回	作業部会	日時：令和3年10月26日（火） 17時30分～19時30分 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設情報交換会 4事業者
第6回	作業部会	日時：令和3年10月27日（水） 13時～15時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設情報交換会 4事業者
第7回	作業部会	日時：令和3年10月29日（金） 17時～19時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護サービス事業所情報交換会 6事業者
※事例調査実施計画書について個別打合せ（zoom） 令和3年10月27日（水）～11月16日（火）			

開 催			主な議事内容
第 2 回	検討委員会	日時：令和 3 年 11 月 22 日（月） 10 時～12 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経過報告 ・各事業者の事例調査実施計画について ・事例集イメージ案について ・全体スケジュールについて
第 8 回	作業部会	日時：令和 3 年 12 月 14 日（火） 15 時～17 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査中間報告 7 事業者
第 9 回	作業部会	日時：令和 3 年 12 月 20 日（月） 17 時～19 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査中間報告 7 事業者
<p>※事例調査事例集フォーマット記載に関する説明動画配信 令和 4 年 1 月 4 日～本調査研究終了まで</p> <p>※事例調査事例集フォーマット記載について個別打合せ（zoom） 令和 4 年 1 月 11 日（火）～3 月 4 日（金）</p> <p>※事例調査実践介護職チーム・介護リーダーへのヒアリング（zoom） 令和 4 年 2 月 9 日（水）～3 月 17 日（木）</p>			
第 3 回	検討委員会	日時：令和 4 年 1 月 19 日（水） 10 時～12 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経過報告 ・事例集構成案について ・調査研究報告書構成案について
第 10 回	作業部会	日時：令和 4 年 2 月 21 日（月） 17 時～20 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査実施報告及び質疑応答 6 事業者
第 11 回	作業部会	日時：令和 4 年 2 月 25 日（金） 15 時～18 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・事例調査実施報告及び質疑応答 6 事業者
第 4 回	検討委員会	日時：令和 4 年 3 月 15 日（火） 15 時～17 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書（案）及び事例集（案）について
第 12 回	作業部会	日時：令和 4 年 3 月 18 日（金） 17 時～19 時 場所：zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書（案）及び事例集（案）について

